

平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月19日（木）午後7時～午後8時45分
□会 場	白沢区民館
□参加者	町側10人、地区側35人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

3. 懇談会テーマと質問事項等の要約

①高齢者と地域のつながり

配布資料に基づき民生部長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）町が高齢者のための遊ばせる施設を考えてほしいです。詩吟の会などを行うときに、自主的に集まれるような場所を提供していただきたいと思います。町にはふれあいの森のような条件の優れた便利なところもありますが、老人を遊ばせるには物足りません。また、白沢台でもサロンが月1回では物足りません。（白沢台）

答）居場所作りですよね。町も図書館の有効利用として駐車場用地を買収しています。さらに、城山保育園までの道路を作り、図書館まで便利がよくなる計画もあります。また、ふれあいの森の横に元気な家族農園を80区画提供させていただき、個人的に花や野菜づくりができるような居場所づくりも頑張っています。（町長）

関連質問）ふれあいの森に高齢者を遊ばせる施設作りはどうか。（白沢台）

答）お年寄りが外へ出る機会を作ることと地区ごとに地域のつながりを作ることが大切だと思います。（民生部長）

関連質問）ビリヤードをするなどといった高齢者を遊ばせる場所の提供についてはどうですか。（白沢台）

答）話題から外れるかもしれませんが、中央公民館には住民の方が自由に使えるあつまルームがありますので、活用してはどうか。（民生部長）

関連質問）第3日曜日に碁の会もありますが、高齢者を毎日遊ばせてくれる施設を考えるといいのではないのでしょうか。（白沢台）

答) 参考にさせていただきます。(民生部長)

関連意見) 65歳以上が44人いますが、寿会という名の会合を毎月1回開いていて、ほぼ全員出席しています。その時に問題提起や話し合いをしていますし、民生委員から町のさまざまな情報ももらっています。旅行や忘年会、女性だけで展覧会、公園ウォーキングも誘い合っている。助け合いとして切れた蛍光灯の交換も活発に行っています。活動報告まではできませんが皆さん元気です。その他に、ストレッチ体操といった体を動かすことを、週1回ですが20年近く行っています。朝歩いているグループもあります。健康であれば何でもできます。名古屋での食事会も皆さん連れ立って行ってきます。男性には家具が倒れないよう支え棒を付けてもらうこともしています。(メイツ巽ヶ丘)

答) 貴重なご意見ありがとうございます。誘い合いは良いことです。今後も続けてほしいと思います。(民生部長)

質問(2) 少子高齢化による小学校の空き教室の提供や保育園の開放を視野に、子どもと高齢者が触れ合っていけるように検討してほしいです。他の地区では既に保育園と地域が取り組んでいるところがあると聞いています。少子高齢化社会とって悲観ばかりするのではなく、できることはないのでしょうか。(メイツ巽ヶ丘)

答) 地域だけでなく、行政も協力させていただくので、話し合いの場を設けてください。(民生部長)

補足) 町の少子化率についてお伝えします。白沢12.79%、白沢台9.45%、メイツ11.07%、町全体は16.25%。白沢台においては10%を切っており、子どもが少ない状況です。児童の増え方も地区によって偏りがあります。東部小学校にも教室を作りましたが、さらに足らなくなるでしょう。英比小学校は若干空いているところを特別教室として使わせてもらっていますが、今後、人口の構成も数年先には変わっていくと思われるため、有効利用をしていきたい。4月には、新たにひなた保育園も完成しましたが、すでに定員を満たしています。また、英比小学校東側には、新たな学童保育と保育園の複合型施設を民間で建設する話があり、来年4月にはオープンさせたいと考えています。(町長)

① ゴミの減量化について

配布資料に基づき建設環境課長説明。

内容は同趣旨のため省略(5月10日(火)宮津公民館参照)

質問(1) 平成25年と平成26年を比較すると、数値が悪くなっています。資源ゴミが減って処理費用がかかることは分かりますが、原因についても分かる範囲でお答えしていただけますか。(白沢台)

答) 一番の原因は、家庭ゴミから出る紙の量です。これがどこかへ行って報奨金が下がっているのではないのでしょうか。また、スチールやアルミに関しては重さがなく、費用還元という面では金額として跳ね返ってきません。紙がアピタやピアゴ等資源ゴミを出せることができたためそちらに流れているのではないかと思われます。また、サンキューもポイントで還元してくれるのでそちらに流れているのではないかともと思われます。(建設環境課長)

関連質問) 資源ゴミとしてアピタ等には流れることはいいですが、報奨金として収入を上げ、ゴミを少なくしようというのなら、町としてのPRの方法を考えたほうが良いのではないのでしょうか。(白沢台)

答) 広報でもいろいろお伝えしていますが、なかなか広報だけで普及することは難しいので、今回のような懇談会等による口伝えがいい機会だと思いますし、今後もPRしていきたいと思っています。(建設環境課長)

質問(2) 紙の郵便物について、住所など個人情報の記載されたものは、資源ゴミに出さず、つい燃えるゴミに出してしまいます。住所など記載されたままゴミとして出してしまうと、他に漏れることはないのでしょうか。(白沢台)

答) 私個人は、個人情報のところを消すか、その部分だけ破いて、燃えるゴミと分別し、新聞紙に挟んで資源回収に出しています。通常、ゴミステーションにゴミを出し、パッカ一車に入ってしまうえばそのままゴミ処理場に行くので個人情報が漏れることはありません。ゴミステーションにある間に盗まれなければそういった心配はないと思います。(建設環境課長)

質問(3) 配布資料の1. 阿久比町の回収ゴミ量の総量が生活ゴミ5,534トンとなっていますが、各地区の数量は出ていますか。また、どこの地区が増えているとか分かりますか。例えば白沢地区でどれだけ増えているなど。地区ごとに把握していなければ、ゴミの減少対策にならないのではないのでしょうか。(白沢)

答) 本日は、地区ごとの資料を持ち合わせていませんが、町全体の数字ならあります。(建設環境課長)

関連質問) 地区ごとの資料を持ってきて、ここの地区が多いからこのような対策をしたほうがいい、本日は、町全体の数字しか持ち合わせていないから分からないということでは、意味がないのではないのでしょうか。(白沢)

答) 後日お知らせします。(建設環境課長)

関連質問) 後日ではなく、次の会場などで資料などを持ち合わせていないと意見も出ないのではないのでしょうか。(白沢)

答) 分かりました。ありがとうございます。(建設環境課長)

ゴミの減量を考えるのであれば、ゴミの出し方の啓発が必要と考えます。

自治会の会計に、出たゴミを売った部分はそのまま町を經由して地区へお支払いし、なおかつ報償費という形で町の税金の中から地区へ還元しています。それにもかかわらず、地区別報償金が減っていることにはいくつか原因があると思います。ゴミの中に資源ゴミを入れてしまうこと。また、資源ゴミの持ち去りがありました。その時にその所有者をはっきりするために路上に出されたゴミは阿久比町の所有物であるとし、警察に届け出たこともあります。そういったことで皆さんの被害が少なくなることも行いました。事業系のゴミは有料処分してもらう必要があるが、家庭用のゴミと一緒にしてしまうこと。さらにこれは自治会の方には申し上げにくいのですが、皆さんの協力をいただいて公園等の草刈をしていただき、それをそのままゴミとして出してしまうことがあると思います。その水分を含んだままの草をゴミとして出すと量が増えます。家庭での草刈りによるものも同様です。阿久比町は自然が豊かですのでそのまま出されるとかなりの量になってしまいます。そのため、このあたりをどうしていくのか考えなければならないと思います。くらしの会に作っていただいているアスパは、年間約18,000袋を全部配布しています。そういったことで、生ゴミを還元することも行っています。こういった状況もある中で、阿久比町のゴミが多いことは、どういうことなのか。皆さんの生活にもかかわってくるゴミ袋の値段の高額化については、本来広域で均一にしたほうがいい。理由は、安いゴミ袋を買ってその地区にゴミを出してしまうことが現実としてあるためです。大府市から東部知多衛生組合の新施設が完成したときに、広域でゴミ袋値上げの提案がされています。処理場も平成31年4月稼動のため、平成29年から平成30年の間に考えなければならなくなります。町も原油の価格が上がったときにも値上げのことは考えましたが、抑えました。ゴミ袋の高額化のことを皆さんにお伝えしなければならないと思っていました。常滑も平成24年にゴミ袋の高額化に取り組むといった意気込みを感じました。自治会長さんたちは、地区の報奨金を上げるために区民にゴミの分別のPRをしてほしい。陽なたの丘の報奨金数値が低く、草木地区の人口がほぼ同じにもかかわらず差があるということは、町も啓発活動する必要があります。(町長)

関連意見) 中日新聞社が月1回新聞紙を玄関に出しておいてくれば、その新聞紙を回収するというので、新聞紙がかなり減ってしまったことは事実です。(メイツ巽ヶ丘)

答) そうですね。植地区にもそういったことで回収にきます。手軽ではありますが、是非、資源ゴミとして出していただければ、報奨金として地元へ還元しますのでご利用ください。(建設環境課長)

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問（１）河川が草やゴミで汚れていますが、何か対策はありますか。（白沢）

答）全地区はやっていませんが、所々で河川の浚渫（しゅんせつ）を行っていますので、要望等があれば区長を通じて維持補修申請という手段もあります。また、大規模に行う場合は予算のこともありますので、すぐに行うことはできませんが、その場合も区長を通じて相談してください。（建設環境課長）

質問（２）ふるさと納税で町の税収が外へ流れているのではないのでしょうか。現時点での取り組み状況を教えてください。（白沢）

答）返礼品について、既に取り組んでいるところへ問い合わせ、５月９日には業者によるプレゼンテーションを行い、業者を決定しました。今後は、町の特産品を取り扱う業者説明会からスタートして、９月１日から返礼品を出したいと考えています。（総務部長）

質問（３）皆さんにお尋ねしたいが、阿久比賛歌を知っていますか。ほとんど知らないですよ。長野県民は８割が地元の賛歌を知っています。小中学校等にも広めてはどうですか。（メイツ巽ヶ丘）

答）町制６０周年の時には、子ども達に歌ってもらいました。小中学校にも各１枚ＣＤを提供しています。ＰＲ不足で申し訳ありません。（総務部長）

補足）文化協会が（６月１４日か１５日には）振り付けも取り入れ、アグピー音頭が完成します。（町長）

質問（４）他市町に比べ、職員研修の費用や回数が少ないのではないのでしょうか。また、管理職の対応が悪いのではないかと思います。（白沢）

答）職員研修は、予算の範囲内で年間各種行っています。後日、資料を提供します。なお、管理職への対応などは、再度、周知徹底します。（副町長）

５．閉会あいさつ

本日は、大変お疲れ様でした。今年から方法を変えて、テーマを決めての懇談会を実施させていただきました。今回の２件のテーマは、一番身近で大事な事業ですが、実施するにはいろいろな面で難しい事業です。特に高齢者と地域とのつながりについてのテーマは、どのようにしたら地域において福祉事業ができるのかを、これからも行政と地区とで連絡を密にして、地域の福祉事業向上に努めていきたいと考えています。

少し時間が早いですが、平成２８年度未来づくり懇談会を終了します。（副町長）